

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

続報 No.288

2020.06/25 (木曜) 17:00 発表

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

参考：長野中部群発及び浅間山火山性地震・6/25発生 千葉東方沖地震も 誤差あるが推定成功でした

No.1778長期前兆とは関係ありませんが、05月中の長野中部（乗鞍岳・焼岳）の群発地震や、06月20日21日の浅間山火山性群発地震、さらに本日06月25日未明発生の千葉東方沖地震等、前兆変動が観測され、地震前兆検知観測情報で発生推定を行い、誤差はありますが、推定に近い地震活動が発生しておりますので、参考までにご報告させていただきます。

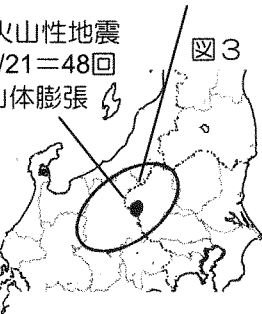
図2は06月19日に観測された高知観測点K6のBF地震前兆変動です。この変動波形から06月21日配信のNo.3180観測情報で図1の推定領域内で、06月24日±2日に陸域M5.4±0.5、海域ではM5.9±0.5の地震発生を推定致しました。対応地震は本日6/25未明発生の千葉県東方沖M6.1でした。通常の前兆としては06月08日に観測されたK6BF（06月11日発生茨城沖M5.8地震の前兆変動）以来でした。



図1

6/25千葉東方沖M6.1-36km(5弱)
震源情報は 気象庁暫定値
全て気象庁 海深200m 前兆規模M5.6±

火山近傍群発推定域
No.1778領域重複
推定6/16±3または
7/2±5
火山性群発地震



5/10BF+5/11火山性特異=5/13±2長野中部群発推定→5/13～長野中部乗鞍岳群発発生
5/14BF+火山性特異 =5/19±2長野中部群発推定→5/19～長野中部焼岳群発発生
6/2BF+6/5・17火山性特異=6/16±3又は7/2±5 図3楕円域内で火山性地震推定
→6/20・21 浅間山火山性地震発生+火山性微動

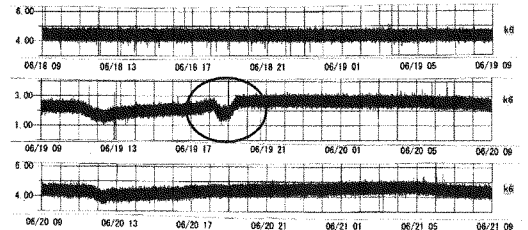
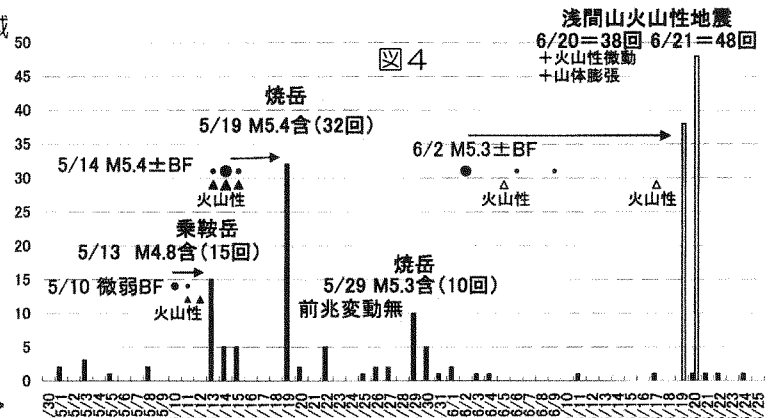
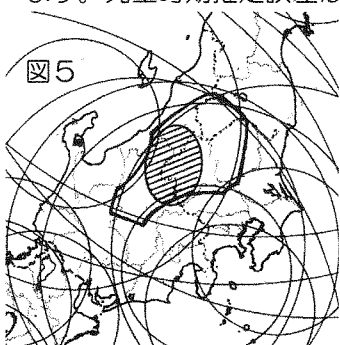


図2 6/19 観測された高知観測点K6のBF地震前兆変動。変動形態は南関東中規模地震型



2020年 長野中部火山性群発地震日々発生回数と前兆変動の関係

図4はBF地震前兆変動と火山性特異（火山または近傍での群発的地震活動前兆変動）が観測されたもので、長野中部領域（対応火山推定は不可能でした）での群発地震活動を推定した結果です。乗鞍岳と焼岳の活動は誤差無く推定成功。5/29の焼岳の活動には前兆変動は観測されませんでした。一日の群発地震発生数が15回を大きく上回らないとM5地震を含んだ活動でも前兆変動は観測されない模様です。更に06月02日にBF変動、06月05日と17日に火山性特異が観測されましたが、この際の火山性特異は長野中部群発の際観測された波形とは異なり細かな変動成分が多く観測された他、06月01日に秋田観測点のA1にステップ状BF（身延局）も観測され、前回2回の長野中部とは活動領域も活動内容も異なることが推定されました。対応活動は06月20日からの浅間山火山性群発地震+火山性微動と認識されます。発生時期推定誤差は大きかったですが、他も含め前兆変動検知可能活動は全て検知され、誤差はありますが、推定結果もほぼ良好でした。全て日々配信の観測情報で予測も配信済でした。地震前兆検知観測情報配信の公開実験へ、是非ご参加下さい。



No.1778長期継続大型地震推定前兆変動 続報

No.1778前兆として続報させて頂いております長期継続前兆変動は、仮に07月25日±発生となる場合には今月末に前兆変動終息が観測されるはずと計算されます。しかしまだ前兆変動の継続があり、あと5日ほどで終息となる可能性は考えにくく、09月から10月となる可能性が高い見解です。今後の変化を観測し、続報でご報告させていただきます。No.1778の推定根拠は続報No.287をご参照下さい。左図5はNo.1778大型地震推定領域図です。太線内（斜線域は参考推定域）

C) Copyright 2020 YSBO 八ヶ岳南麓天文台